

北葛だより

## みっちゃんの宅配便

今井光子の県議会だより

日本共産党奈良県議会議員団

奈良市登大路町30奈良県議会内 Tel 0742 (27) 5291

今井 光子 広陵町馬見北3-4-25 Tel&amp;Fax 0745 (55) 8725

メールアドレス: mituko38@amber.plala.or.jp



## 草の根の取り組みが世界を動かす

## ついに核兵器禁止条約 国連で採択

加盟国の3分の2（122か国）が賛成

唯一の被爆国の政府・日本政府は参加せず

7月7日国連では核兵器禁止条約が国連加盟国の3分の2の国々の賛同で核兵器禁止条約が採択されました。



右写真  
ア地方  
をすす  
北東ア  
に主導  
すこと  
に申し  
でのヒ  
の推進  
も求め  
ました。

奈良県議会の核兵器廃絶決議を  
英訳して国連軍縮委員会あて送付

奈良県議会はこれに先立ち3月に、県議会としては全国で初めて「核兵器の廃絶を求める意見書」が可決され、今井光子県議は英語に翻訳して国連の会議に向けて軍縮委員会に送るように議長に要請して今回の会議に間に合うように送付されました。

草の根で集めていただいた  
北葛4町の1306筆も国連に届けました

またこの間、北葛城郡の4町の役場や、学校、医療福祉施設、シルバー、草の根で集めていただいた署名が1306筆が寄せられて今回被爆者署名が300万筆日本中から送った中にこの署名も一緒に届けられました。

\*\*

広島、長崎の体験、核兵器の非人道性が条約に至った動機でした。条約には「ヒバクシャ」ということが2か所も書かれ、核兵器の使用が国連憲章、国際法、国際人道法に照らして違法とされました。第1項ではa 実験・生産・製造・取得、保有貯蔵の禁止、

b 移転の禁止、c 移転を受領することの禁止、d 使用の威嚇、e いかなる様態にかかわらず援助し、奨励し、または勧誘してはならないとされ、「核の傘」に入ることも禁止です。

核保有国に対しては1、核兵器を廃棄して条約に入る、2、核を持ったままで条約に入る運用形態を解除して可及的速やかに廃棄する協定をむすぶ。（期限を決めた計画を示す）

日本の被爆者運動が一貫して求めてきた被爆者援護も条約に入りました。

\*\*

今後の核廃絶への道は、1 条約そのものが持つ法的な規範力

2 条約を作り上げた世界の政府と市民運動の力 3 核兵器保有国と同盟国で核廃絶を求める世論を多数にして条約の締結を求める運動を進める。

\*\*

かつてストックホルムアピール署名は世界で5億人集まり、当時朝鮮戦争でアメリカの原爆使用を止めさせました。当時日本では630万人分が集まり奈良県で23000人分の署名が集まりました。奈良県では39市町村すべて平和首長会議に参加しています。平和首長会議も広島長崎アピール署名を世界数億人あつめる呼びかけに賛同しています。

さらなる前進に頑張ります。

## 新しい所属委員会

日本共産党議員の所属委員会は次の通り。（◎委員長、○副委員長）

山村幸穂議員 総務警察委員会○、少子化対策女性の活躍委員会

小林照代議員 厚生委員会、防災県土強靱化対策委員会◎

今井光子議員 経済労働委員会◎、観光振興対策特別委員会

太田 敦議員 建設委員会、南部東部振興対策委員会○

宮本次郎議員 文教くらし委員会、産業基盤強化推進委員会

## 経済労働委員長になりました

経済労働委員会委員長になりました。よろしくをお願いします。

2017年度から小規模企業基本条例がいよいよスタートです。奈良県の94%を占める小規模企業が活性化できれば奈良県が元気になります。これまで県政政策の蚊帳の外だと思われていた小さな企業の技術、発想、ネットワークなどを生かして奈良の魅力が発進できたらと思います。

今年の7月7日は忘れられない日になりました▼核兵器禁止条約が世界の3分の2の国の賛成で可決しました。核兵器の使用は悪いことになったのです。ある被爆者の話。80歳になる男性が重い口を開けて、広島を原爆で亡くなった妹を槓を拾って上に乗せ火をつけた時妹が動いた▼死後硬直を自分が殺したと思いついて生きてきた。11万人の被爆者には11万の忘れようにも忘れない記憶が。つらい思いを乗り越えて訴え続けてきたことが世界を動かす力に▼必ず廃絶を。引き続き被爆者署名のご協力をお願いします。

つづろ



6月議会は6月16日から7月3日まで行われ、9件の議案、22件の報告案件が提案され、可決しました。

手話通訳が本格導入されました

6月議会から本会議質問の手話通訳の本格導入が開始され、政務調査費のインターネット公開も始まりました。いつでもご覧になれます。

奈良少年刑務所の整備活用に関する意見書を採択

日本共産党が提案した「奈良少年刑務所の整備活用に関する意見書」が全会一意で可決しました。

歴史的建造物のレンガ造りの少年刑務所はホテルとして活用されることになりましたが、同所に、この施設の歴史とりわけ平和と民主主義を求めた人が投獄されていた歴史の展示場を設けてほしいというものです。

県立医大病院に緩和ケア病床を 請願を採択

県立医科大学付属病院に緩和ケア病床の設置を求める請願を採択しました。緩和ケアは今後ニーズが高まっていくと思われます。しかし奈良県には4か所しかありません。国保中央病院にもありますが南和からは遠く、医大にホスピスを望む声が奈良県のホスピスとがん医療を進める会から請願が提出されました。

登美学園・筒井療 引き続いて県直営を維持

登美学園と筒井療の建て替えに伴う運営については県が独自で運営をするよう求めてきましたが今回県独自で行うことが明らかになりました。

登美学園は知的障害の子どものための福祉型障害児入所施設です。筒井療は視覚・聴覚に障害のある児童の入所施設です。それぞれ老朽化したため今回いっしょに建て替えることになり民間委託や指定管理でなく県直営となりました。

病児保育の全県的推進を

生駒郡と北葛城郡の周辺には病児保育がなく、子どもの病気でも仕事が休めない親にとっては切実です。西和医療センターに設置を望む要望があり、運動が始まっています。病児保育を全県的に推進することについての県の考えをたしました。

病児保育は現在、5市6か所で実施されています。

西和地域の病児保育の広域実施について県は、4月に、西和の7町に対して病児保育の制度、運営費、回収費等補助金の内容、それと大和高田市の「ぞうさんのお家」の運営状況などについて情報提供をおこなったと答弁。現在、西和7町で西和医療センターでの病児保育の実施内容等について検討しているところです。

5歳児検診の実施を

1歳半、3歳などの検診では見つけにくい社会性のある病気や視力などは「5歳児検診」を行うことで発達支援が必要な子どもの早期発見、早期治療につながるといわれています。このため鳥取県では5歳児検診実施をはじめました。

奈良県でも導入を進めて市町村を応援すべきだと求めました。

県内では下北山村と十津川村で5歳児検診を実施しています。

県としては法定検診の1歳半、3歳の検診がどこでも同じように実施できるようマニュアルを作成し充実を図っていると答えるにとどまりました。

5歳児健診を実施している鳥取県では、3歳児検診で発達上の問題が指摘されずに、5歳児発達相談で初めて気づいた事例が、「軽度MR児」で38.5%、「ADHD」で58.9%、「PDD」の子どもさんで43.9%、「LD」の疑いは100%だったという、高い発見率が報告されていて、5歳児検診の必要性は明らかです。5歳児の検診というのは、まだ国の事業にも入っておりませんが、必要性から考えたら大事なことだと思います。

県としてもぜひ、このことについては研究をしていただきたいと強く求めました。

国保の 県単位化

支払える国保料に！

県全体の国保加入者の平均所得は1人あたり71万円／年（2015年）と低く、平均保険料は収入の11%にあたる、1人あたり81110円／年です。下表のように県単位化で、保険料が大きく上がると言われています。（表は奈良県社会保障推進協議会が県の資料をもとに試算したもの。保険料額の決定は市町村が行うものですから、確定したものではありません）所得の2割を超える保険料負担が試算されています。

そうなるとう、生活ができません。県は国保広域化（県単位化）は「制度を維持するため」と説明しますが、被保険者の暮らしが成り立たないような制度で県民の命が守れるでしょうか。支払いができる保険料への引き下げこそ求められます。

県単位化後(2018年)の国保料額【試算】

3人家族、所得200万円、資産なしの場合：奈良県社会保障推進連絡協議会

|     | 2016年度保険料額／年<br>円 | 【試算】県単位化後の保険料額／年 |                   | 2015年度決算   |        |
|-----|-------------------|------------------|-------------------|------------|--------|
|     |                   | 引き上げ<br>差額<br>円  | 法定外繰<br>り入れ<br>千円 | 基金残高<br>千円 |        |
| 上牧町 | 351117            | 421081           | 69964             | 6432       | 492557 |
| 王寺町 | 321380            | 438713           | 117333            | 0          | 147217 |
| 広陵町 | 380900            | 431826           | 50926             | 15268      | 1921   |
| 河合町 | 327800            | 433734           | 105934            | 0          | 16818  |

願いのあるところ  
どこへでも  
今井光子のフォトレポート

今井光子県議の活動を写真でレポートします。

河合町の学校の雨漏りを視察しました。この学校では別の棟の雨漏り改修をおこなったばかりで、新たな棟の雨漏り発生で頭をかかえています。

学校の大規模改修や耐震改修に出る補助

大変！学校の雨漏り

金はあるが、1000万円程度の改修には補助はありません。町単独で回収するには大きな負担になります。以前にはあったという県の、小規模な改修にも使える補助金の復活が求められているのではないのでしょうか。



【上写真】

吉野町内で東京ドーム9個分という巨大な太陽光発電施設を建設中。吉野の山林が、ごらんのようには剥ぎ取られました。

現地を訪問し、県議会では防災対策の確実な推進を求めました。



【下写真】

下北山村で発生したがけ崩れで国道がストップ。太田あつし議員と一緒に現地視察。速やかな対応がおこなわれ、今は通行可能になっています。



安全安心の  
地域づくりを  
一緒に